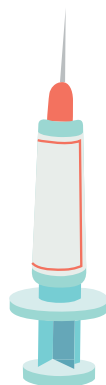


※男性にも HPV ワクチンの無料接種や接種助成をおこなっている自治体が増えています。
男性接種について気になる方はお住まいの自治体にお問い合わせください。

小学校6年生 から 高校1年生相当の女子は、 公費でHPVワクチンが 接種できます



HPVワクチンは、性交渉が未経験の 場合にだけ効果があるのですか？

HPVワクチンは性交渉開始前に接種することが最も効果的であるとされています。しかし、すでに性交渉を持たれている方でもワクチンで予防できる HPV の型すべてに感染している割合は少なく、接種する意義はあります。

万一、副反応や健康被害が
起こったら、まずは接種を受けた医療機関
やかかりつけ医に相談をしてください

相談窓口など、詳しくは最後の
ページで案内しています

HPVワクチン副反応報告数

ワクチン種類	接種可能なべ人数	(うち重篤) 医療機関からの報告
2価ワクチン	7,025,911	0.0079%
4価ワクチン	2,264,887	0.0058%
9価ワクチン	5,429	0.000%

※ 令和4年10月1日から令和4年12月31日報告分まで医療機関への
納入数量を接種可能なべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したもの

副反応が怖いです

HPV ワクチンに限らず、全ての予防接種で接種部位の腫れや痛みなど、また稀にアレルギー症状が起きることがあります。ほとんどの場合は自然に解消されますが、体調に異変を感じた場合は医師に伝え対処を受けましょう。

HPV ワクチンの安全性は？

現在までに世界中で幅広く接種されています。

日本を含めどの国でも安全性に疑問が出る報告はほぼ見当たらず、安全性は海外・国内で確認されています。また接種開始時から現在まで安全性に変化はありません。

HPVワクチン接種後の 重篤な副反応報告に関する4か国比較

				
全ての報告	26.1	53.1	103.6	22.3
重篤な報告	6.1	3.3	31.8	1.3
個別の副反応(例)	約 890 万	(重篤のみ)	(重篤+軽傷)	(重篤のみ)
接種部位以外の広範な疼痛	1.1	0.1	0.6	0.1
合計ワクチン接種数	(重篤のみ)	約 2300 万	約 600 万	約 770 万

「10万接種当たりの副反応報告頻度」 ※ 国により報告制度や重篤とされるものの扱いが異なるため一概には比較できない